

衆議院農林水産委員会ニュース

【第210回国会】令和4年10月27日（木）、第2回の委員会が開かれました。

1 農林水産関係の基本施策に関する件

・野村農林水産大臣、勝俣農林水産副大臣、野中農林水産副大臣、角田農林水産大臣政務官、藤木農林水産大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者）東国幹君（自民）、庄子賢一君（公明）、金子恵美君（立憲）、近藤和也君（立憲）、梅谷守君（立憲）、掘井健智君（維新）、池畑浩太郎君（維新）、足立康史君（維新）、長友慎治君（国民）、田村貴昭君（共産）、北神圭朗君（有志）

（質疑者及び主な質疑事項）

東国幹君（自民）

- （1） 食料・農業・農村政策審議会に設置された基本法検証部会の役割及び初会合における議論の内容
- （2） 食料安全保障関係
 - ア 農林水産大臣の所見
 - イ 食料安全保障予算を別建てで創設する必要性
- （3） 耐用年数を超えて老朽化した基幹的農業水利施設の整備に向けての対処方針
- （4） 農林水産大臣の第12回全国和牛能力共進会についての感想、次大会への期待及び和牛振興に向けた決意
- （5） 平成29（2017）年の畜産経営の安定に関する法律等改正時に付された附帯決議を踏まえて今後も制度の適切な運用を推進していく必要性

庄子賢一君（公明）

- （1） 第一次産業が置かれている現状及び持続可能で稼げる農林水産業の将来像についての農林水産大臣の見解
- （2） 農林水産物における生産コストの価格転嫁対策の現状と今後の展開方向
- （3） 法定化された人・農地プラン（地域計画）関係
 - ア 地域計画策定に向け、合意形成能力を備えた人材を確保する必要性
 - イ 農地の集約化に向けてインセンティブを付与する施策を講ずる必要性
- （4） スマート農業の普及に係る課題解決の検討及び今後の農政への反映方針
- （5） 食料安全保障予算を当初予算で確保する必要性

金子恵美君（立憲）

- （1） 入国規制緩和に伴う防疫強化関係
 - ア 立憲民主党による入国規制緩和に伴う防疫強化等に関する申入れを受けた農林水産大臣の所見及び決意
 - イ 生産者や地方自治体による防疫対策に対する財政上の支援を講ずる必要性
- （2） 東日本大震災原子力災害の被災地の視察後の農林水産大臣の所見及び決意
- （3） ALPS処理水関係
 - ア 今後の具体的な取組内容
 - イ 我が国の漁業を守る農林水産大臣として取り組むべき対策の方向性
- （4） 生産資材価格高騰対策について補正予算で追加措置を行う予定の有無
- （5） 食料安全保障の観点から食料自給率の向上を進めていく必要性及び担い手の育成という考えが後退

しているのではないかと懸念

近藤和也君（立憲）

- (1) 旧統一教会関係
 - ア 農林水産大臣、副大臣及び大臣政務官が旧統一教会関連団体から推薦確認書を提示され、署名したことや選挙支援等の協力を受けたことの有無の確認
 - イ 野中農林水産副大臣が今後同団体と一切関係を断つことの確認
- (2) アキタフーズ関係
 - ア 吉川元農林水産大臣に対する収賄罪の有罪判決が確定したことに対する農林水産大臣の受止め
 - イ 農林水産大臣とアキタフーズ元代表との接点に関する報道の事実関係
- (3) 韓国へのルビーロマン流出を踏まえた上での新品種育成者権侵害防止に向けた農林水産大臣の決意
- (4) 食料・農業・農村基本法の見直し・検証関係
 - ア 法改正を必要とする理由
 - イ 新しい資本主義についての農林水産大臣の認識
 - ウ 新しい資本主義と切り離して基本法の見直し議論を進める必要性
- (5) 円安が物価上昇の要因となっていることを踏まえた現状の円安についての農林水産大臣の所見

梅谷守君（立憲）

- (1) 農林水産省の定員関係
 - ア 大幅な定員削減が行われてきた理由
 - イ 他府省と比較して農林水産省の定員削減が突出している理由
 - ウ 新しい農林水産業の確立に向けて人員体制を強化する必要性及び地方組織の人員拡充、若手の育成及び確保に向けた農林水産大臣の決意
 - エ 植物防疫所及び動物検疫所の平成 28（2016）年度から令和 4（2022）年度までの間における定員削減数及び増員数
 - オ 令和 5 年度組織・定員要求による体制強化についての農林水産大臣の見解
 - カ 次期合理化計画において削減数から増員数を減じてイコールゼロとなるような措置を行う必要性
- (2) ミニマム・アクセス米関係
 - ア ミニマム・アクセス米の輸入数量に関する農林水産省の見解
 - イ 財政負担の総額並びに直近各 5 年の負担額及び内訳

掘井健智君（維新）

農福連携関係

- ア 農福連携の推進に対する農林水産大臣の意気込み
- イ 農福連携に対する農業者の認知度の状況
- ウ 農業者の認知度向上のための取組
- エ 障害者を受け入れるための設備が整っていない等の課題がある中での農業経営体と障害者就労施設のマッチングの在り方
- オ 福祉事業団体がマッチング支援を受けたい場合の具体的手順
- カ 農福連携技術支援者関係
 - a 確保すべき人数の目標の有無、業務内容及び期待する役割
 - b 農福連携技術支援者への具体的な連絡方法
- キ 農福連携における農地利用関係

- a 社会福祉法人による農地取得を円滑にするために農福連携の意義を農業委員会に周知徹底する必要性
- b 休憩所等の設置と農地転用の関係、優良事例の横展開等の取組状況

池畑浩太郎君（維新）

- (1) 地域の多様性を踏まえた上での農業の生産基盤の状況に関する農林水産大臣の見解
- (2) 国産飼料の生産拡大関係
 - ア 飼料自給率が向上しない要因
 - イ 国産飼料の生産拡大のための具体策を提示する必要性
 - ウ 飼料自給率向上のスケジュール感

足立康史君（維新）

宅地造成及び特定盛土等規制法（以下「盛土規制法」という。）関係

- ア 農林水産大臣の所信的発言において盛土規制に言及がなかった理由
- イ 農林水産省及び国土交通省の共管である盛土規制法における農林水産省の役割
- ウ 環境保全の観点からも盛土規制を行う必要性
- エ 森林法施行規則関係
 - a 9月30日に公布された改正の内容
 - b 伐採の届出の際に盛土規制法等の許認可に関する書類を添付することについて、改正施行規則の施行前に地方自治体が指導できることの確認
- オ 盛土規制法に係る技術的基準の内容を高い水準とする必要性

長友慎治君（国民）

- (1) J A関係
 - ア 日本の食料安全保障が転換期を迎える中でのJ Aの在り方についての農林水産大臣の見解
 - イ これからのJ Aに農林水産大臣が期待すること
- (2) フードバンク関係
 - ア フードバンク、子ども食堂等への具体的支援策
 - イ 内閣総理大臣がフードバンク支援緊急対策事業の大幅拡充を表明したことを踏まえた農林水産省のフードバンク支援の方向性
 - ウ フードバンクの活動を拡大する上で必要となる人件費を補助する必要性
- (3) 有機農業関係
 - ア 我が国の耕地面積に占める有機農業の取組面積の割合を増やすための施策
 - イ 有機農業において地域支援型農業（C S A）に参画する企業を増やすことへの農林水産省の見解

田村貴昭君（共産）

- (1) 旧統一教会関係
 - ア 旧統一教会が反社会的集団であるのかについての野中農林水産副大臣の認識
 - イ 野中農林水産副大臣が旧統一教会との関係を今後絶つことの確認
 - ウ 旧統一教会が反社会的集団であるのかについての農林水産大臣の認識
- (2) 食料自給率関係
 - ア 農林水産大臣の所信的発言において食料自給率について言及がなかった理由

- イ 「食料自給率目標 45%」をキーワードとして今後用いていくことへの農林水産大臣の見解
- (3) 厳しい状況にある酪農に対して、思い切った措置を実施する必要性
 - (4) 生産を継続していくことが可能な米政策の在り方
 - (5) 肥料価格高騰対策事業について、高騰する前との差額を証明できる農家に対しては差額分を全額補填する必要性
 - (6) ミニマム・アクセス米関係
 - ア 9月16日の入札における米国产米の1トン当たりの落札価格
 - イ 米国产米の落札価格に係る試算に対する農林水産省の見解
 - ウ 米国からの定量輸入が条約上の義務であるのかについての確認
 - エ 飼料用米の生産過剰を理由に水田活用の直接支払交付金の要件を見直そうとする一方、米国产米をミニマム・アクセス米として輸入し、飼料用米に仕向けることにより赤字が生じていることに対する農林水産大臣の見解

北神圭朗君（有志）

- (1) 肥料価格高騰対策事業関係
 - ア 国の支援額に地方自治体が上乘せして補助することを働きかける必要性
 - イ 参加要件について、これまで化学肥料の使用量を低減してきたこと等、個々の農家の事情が考慮される必要性
 - ウ 参加要件を満たすことが小規模農家や兼業農家の負担になるという懸念の払拭に向けた農林水産大臣の決意
- (2) 我が国の食料安全保障を確立するための農業の担い手の確保に向けた農林水産大臣の決意

2 競馬法の一部を改正する法律案（内閣提出第7号）

- ・野村農林水産大臣から趣旨の説明を聴取しました。